

公益社団法人砂防学会会員実勢

【参考】

	平成25年度期首	平成24年度期首	増減
(会員種別)	(人数)	(人数)	(人数)
正会員	1 7 4 8	2 0 3 0	- 2 8 2
個人 国内	1 7 3 2	1 7 8 6	- 5 4
個人 海外	1 6	1 9	- 3
法人等団体	該当なし	2 2 5	- 2 2 5
購読会員	2 1 7	該当なし	2 1 7
名誉会員	8	8	0
学生会員	8 8	1 1 2	- 2 4
賛助会員	1 9 3	1 9 2	1
特級	1 8	1 9	- 1
一級	2 6	2 5	1
二級	4 7	4 8	- 1
三級	1 0 2	1 0 0	2

平成 24 年度 事業報告

自 平成 24 年 4 月 1 日

至 平成 25 年 3 月 31 日

I. 研究活動

(1) 研究発表会の開催

平成 24 年 5 月 23 日、高知県高知市「高知県立県民文化ホール」において平成 24 年度（社）砂防学会通常総会が開催され、23 日、24 日に研究発表会、25 日に現地研修会（香美市：砂防及び治山事業と龍河洞、室戸市：砂防及び治山事業とジオパーク）を実施した。研究発表会では、企画セッション、一般口頭発表、ポスターセッションの 3 形式をとり、企画セッションとして「極端気象による深層崩壊—平成 23 年の台風 12 号等による深層崩壊—」、「東南海・南海地震と土砂災害」、「土砂災害に対する警戒避難体制の整備・対応について」、「International session for erosion control engineering and sediment disaster mitigation（砂防工学と土砂災害軽減に関する国際セッション）」の各セッションを行い、一般口頭発表として、砂防事業、構造物、土石流、土砂流出、警戒避難、管理計測、火山、生態系、地すべり、斜面安定、砂防計画、斜面崩壊の各セッションを行った。

(2) シンポジウムの開催

平成 24 年 10 月 11 日、東京都府中市「府中グリーンプラザ けやきホール」において、第 44 回（社）砂防学会シンポジウム（テーマ：「深層崩壊による災害の実態と軽減手法のあり方」）を開催した。

(3) 平成 24 年度若手研究助成の実施

3 課題の若手研究技術開発助成を採択し実施した。

①「間接法を用いた流砂観測による土砂動態の定量的把握に関する研究」

代 表： 谷 寧人（京都大学大学院 農学研究科）

②「急速な侵食が及ぶ山地斜面における重力性変形の進行プロセス—宇宙線生成核種年代測定による定量的評価—」

代 表： 西井稜子（筑波大学 農林技術センター井川演習林）

③「植物根系の土粒子緊縛による表面浸食量抑制効果の検証」

代 表： 篠原 慶規（九州大学農学研究院 環境農学部門）

II. 国際学術交流

(1) 国際セッションの開催

砂防学会研究発表会（平成 24 年高知大会）において、International session for erosion control engineering and sediment disaster mitigation（砂防工学と土砂災害軽減に関する国

際セッション)を実施した。

(2) 各種国際会議の案内

各種国際会議の案内を砂防学会誌第 65 巻 1 号～6 号に掲載した。

III. 事業活動

(1) 出版

- 1) 砂防学会誌 第 65 巻 1 号～6 号までの 6 冊を刊行した。
- 2) 砂防学会誌英文誌, Vol.5 No.1~No.2 を発刊した。
- 3) 平成 24 年度砂防学会研究発表会概要集を刊行した。
- 4) 第 44 回 (社) 砂防学会シンポジウム講演集を刊行した。
- 5) 平成 24 年度研究発表会概要集の PDF 化を実施した。
- 6) 砂防技術総覧の追加募集を行った。

(2) 講習会, 現地検討会の開催

- 1) 平成 24 年 7 月 7 日～9 日に, NPO 法人 山の自然文化研究センターとの共催で平成 24 年度奥飛騨砂防・土木技術者研修会を京都大学防災研究所穂高砂防観測所において開催し, 89 名の参加のもと, 話題提供, 意見交換, 土砂排出実験見学, 上々堀沢土石流観測現場見学, 平湯川・蒲田川流域における砂防施設の見学が行われた。
- 2) (財) 建設技術研究所(つくば市)との共催で砂防水理模型実験に関する講習会を平成 24 年 10 月 30 日に開催し, 参加者は 19 名であった。
- 3) 平成 24 年 11 月 7 日～8 日に新潟県魚野川流域登川・鎌倉沢川(国土交通省北陸地方整備局 湯沢砂防事務所管内)において, 平成 23 年新潟・福島豪雨に伴う土砂移動現象と施設効果についての現地検討会を開催し, 16 名の参加があった。
- 4) 平成 24 年 12 月 5 日には砂防会館別館において「流域計測・空間情報解析の技術とその活用事例」についての講習会を 44 名の参加のもとに開催した。

(3) SAYER 会の開催

砂防学会の若手技術者が自由に議論・意見交換できる場として設立された SAYER 会の会合を関東地区(平成 25 年 1 月 7 日, (財) 砂防・地すべり技術センター)にて「今後の関東地区 SAYER 会の実施方針, あり方について」との議題で開催した。

関西地区では, 平成 24 年 10 月 27 日～28 日に和歌山県那智勝浦町において現地討論会を開催し, 30 名の参加のもとに平成 23 年台風 12 号による土石流災害現場(金山谷川, 内の川等)の見学を行った。

(4) 砂防関係就職説明会の開催

砂防関係の就職情報を提供することを目的に, 大学で砂防関係科目を専攻している学生等を対象に, 砂防関係就職説明会を平成 24 年 10 月 30 日から 12 月 12 日にかけて, 全国 8 ブロックにおいて延べ 132 名の参加のもとに開催した。

(5) 公募研究の審査と実施

平成 24 年度開始 (26 年度まで) の公募研究会助成として「斜面動態モニタリング研究会」(代表者: 笹原克夫), 「大規模土砂災害の評価手法に関する研究会」(代表者: 堀田紀文), の 2 課題を採択し研究活動が開始された。また, 昨年度に引き続き「自然斜面の安定度評価に関する研究会」(代表者: 岩佐直人, 平成 23 年~25 年度), 「砂防学における「知の野生化」研究会」(代表者: 田中隆文, 平成 23 年~25 年度) の公募研究会助成が行われた。

(6) 調査・研究の実施

1) 災害緊急調査

「九州北部災害調査団」を立ち上げ, 九州大学久保田哲也教授を団長とする調査団を結成し, 主に阿蘇地域の土砂災害の調査を行った。その結果については, 砂防学会誌第 65 巻第 4 号に報告した。

2) 受託研究調査

- ① 大規模土砂災害および二次災害の発生予測手法と対策施設の効果に関する研究
(一財) 砂防・地すべり技術センター
- ② 地震による斜面崩壊の実態と土砂災害発生機構・減災手法に関する研究
(一社) 全国治水砂防協会
- ③ 「土砂災害が発生するおそれがある土地の区域等」の設定に関する検討業務
(一財) 砂防フロンティア整備推進機構
- ④ 深層崩壊の発生危険斜面抽出手法および避難基準策定手法の開発
国土交通省国土技術政策総合研究所

(7) 表彰

1) 平成 24 年度「砂防学会賞」受賞者を総会において表彰した。

・論文賞

受賞者: 小菅 尉多 会員

対象論文: 河床礫の破碎・摩耗特性 (砂防学会誌, 第 62 巻第 5 号, p.3-11, 2010 年 1 月)

河床礫の破碎摩耗試験 (砂防学会誌, 第 63 巻第 2 号, p.3-11, 2010 年 7 月)

受賞者: 山田 孝 会員

対象論文: 2007 年 3 月 18 日にルアペフ火山 (ニュージーランド) の火口湖決壊によって発生した泥流の土砂水理特性変化 (砂防学会誌, 第 62 巻第 1 号, p.3-10, 2009 年 5 月)

・論文奨励賞

受賞者: 吉野 弘祐 会員

対象論文: 天然ダム越流による侵食と土砂流出の実態—レーザープロファイラを用いた解析— (砂防学会誌, 第 62 巻第 5 号, p.27-35, 2010 年 1 月)

・砂防技術賞

受賞者：伊藤 洋輔，山越 隆雄，田村 圭司，成田 秋義，高橋 伸忠 会員

対象事業：河道閉塞監視のための土研式投下型水位観測ブイ

2) 平成 25 年度「砂防学会賞」受賞者を決定した。

・論文賞

受賞者：内田 太郎 会員

対象論文：場の条件の設定手法が表層崩壊発生箇所の予測に及ぼす影響（砂防学会誌，第 62 巻第 1 号，p.23-31，2009 年 5 月）

受賞者：清水 収 会員

対象論文：山地流域における流木天然ダムの形成・破壊と流木の流出過程（砂防学会誌，第 62 巻第 3 号，p.3-13，2009 年 9 月）

・論文奨励賞

受賞者：渋谷 一 会員

対象論文：3D - DEM による流木捕捉工の捕捉シミュレーション解析（砂防学会誌，第 63 巻第 6 号，p.13-22，2011 年 3 月）

・砂防技術賞

受賞者：多田 泰之 会員

対象業績：地下流水音による水みち探査手法の開発

受賞者：小山 敢 会員

対象業績：安全な林業用作業道作設のための路網設定法と盛土管理技術の開発

(8) 平成 25 年度の若手研究助成

若手研究助成の公募を行い，5 課題を採択した。（課題名，代表者名）

①「山地源頭部の土石流発生域における溪床堆積物上に発生する土石流に関する研究」

代表：速見 智（立命館大学院理工学研究科）

②「風化花崗岩山地における基岩地下水の分布におよび流動特性」

代表：高木 将之（京都大学農学研究科）

③「新しい地盤内ひずみ計測における地表面変位とネイリングセンサの出力値との関係性の検討」

代表：壇上 徹（立命館大学大学院理工学研究科）

④「3D レーザースキャナを用いた斜面から河道への土砂供給量とその空間分布の把握」

代表：平岡 真合乃（東京農工大学大学院農学府）

⑤「TDR（時間領域反射測定法）を利用した砂面位計の開発と流砂観測への適用」

代表：宮田 秀介（京都大学防災研究所）

(9) 平成 25 年度の公募研究会

平成 25 年度開始の公募を行い，1 課題を採択した。（研究期間：平成 25 年～27 年度）

①「数値砂防力学研究会」

代表：竹林 洋史（京都大学防災研究所）

また，23 年度採択（2 課題），24 年度採択（2 課題）をそれぞれ継続する。

(10) 情報提供

砂防学会ホームページの管理・更新，メーリングリストの運営を行った。

IV. 砂防学会の運営事項

(1) 会議の開催

1) 総会

平成 24 年 5 月 23 日高知県高知市「高知県立県民文化ホール」において平成 24 年度（社）砂防学会通常総会を開催した。出席者および委任状提出者は計 1,673 名（定款第 41 条の規定「定款の変更」による定足数は 1,523 名）で総会は成立した。

議案：平成 23 年度事業報告

平成 23 年度収支決算報告

平成 24 年度事業計画（案）

平成 24 年度収支予算（案）

役員任期満了退任に伴う改選および選任

公益社団法人認定に係る手続きと定款改定（案）

会員資格の喪失（除名）者

平成 24 年度砂防学会賞授与

2) 理事会

第 1 回 平成 24 年 5 月 22 日（高知県高知市）

議案：平成 23 年度事業報告

平成 23 年度収支決算報告

平成 24 年度事業計画（案）

平成 24 年度収支予算（案）

公益社団法人認定に係る手続きと定款改定（案）について

入退会者及び除名対象者の承認について

第 2 回 平成 24 年 5 月 23 日（高知県高知市）

第 32 期（社）砂防学会役員の紹介

会長，副会長，専務理事互選

第 3 回 平成 24 年 5 月 23 日（高知県高知市）

議案：第 32 期 各部会長等の選任

第 4 回 平成 24 年 10 月 11 日（府中市 府中グリーンプラザ第 5 会議室）

議案：平成 25 年度砂防学会通常総会並びに研究発表会実行委員会の設立について

平成 25 年度砂防学会シンポジウム開催地とテーマ案について

平成 26 年度砂防学会定時総会並びに研究発表会開催候補地について

地方活動活性化検討委員会の設立について

会員の入退会者について

第 5 回 平成 25 年 3 月 29 日（東京都千代田区）

議案：平成 24 年度事業報告について

平成 24 年度収支決算（見込）について
平成 25 年度事業計画（案）について
平成 25 年度収支予算（案）について
（公社）砂防学会定款変更について
（公社）砂防学会第 2 期役員候補者推薦委員会委員の推薦について
平成 25 年度砂防学会賞選考結果について
平成 25 年度研究助成・公募研究会の応募状況と審査結果について
会員の入・退会者について

3) 部会長・幹事会会議

第 1 回 平成 24 年 7 月 4 日（東京都千代田区）

議案：砂防学会の運営状況と課題

第 32 期体制について
新公益法人移行手続きについて
砂防学会の地方活動活性化について
平成 25 年度シンポジウムの開催について
部会活動計画について

第 2 回 平成 25 年 3 月 11 日（東京都千代田区）

議案：第 5 回理事会に付議する議案の審議

平成 24 年度事業報告
平成 24 年度予算執行予定（今後の支出予定について）
平成 25 年度事業計画と予算案について
（公社）砂防学会定款変更について
（公社）砂防学会第 2 期役員候補者推薦委員会委員の推薦について
平成 25 年度研究砂防学会賞選考結果について
平成 25 年度研究助成・公募研究会の応募状況と審査結果について
部会・委員会報告

4) 公益法人制度改革対応委員会

平成 24 年 9 月 11 日付で 公益社団法人移行認定申請書を内閣府へ提出した。
平成 25 年 3 月 19 日付で 内閣府より公益社団法人移行認定を受けた。

5) 地方活動活性化検討委員会

第 1 回委員会 平成 24 年 12 月 14 日（東京都千代田区）

地方支部体制および活動内容のあり方についての検討

第 2 回委員会 平成 25 年 3 月 1 日（メール会議）

地方支部体制及び地方支部の活動内容の具体的な検討

6) 平成 25 年度「砂防学会賞」選考委員会の開催

平成 25 年 2 月 2 日（東京都千代田区）、平成 25 年度砂防学会賞受賞候補者を選考した。

(2) その他の会議

1) 研究開発部会：平成 25 年度の公募研究会と若手研究助成の公募と審査、平成 25 年度の

砂防学会研究発表会の企画・テーマ別セッションおよび平成 25 年度砂防学会シンポジウムのテーマの案作成,「九州北部災害調査団」の結成と阿蘇地域を主とする土砂災害の調査を行った。

- 2) 編集部会・編集委員会(和文誌):原稿処理状況の確認,掲載論文等の決定,企画や特集の提案,投稿規程等の改定の議論,砂防学会賞候補者の推薦等を行った。
編集委員会(英文誌):「砂防学会誌英文誌編集委員会」を開催し,編集状況の確認,論文種別に関する審議,論文取り下げに関する審議等を行った。
併せて,砂防学会誌 Vol. 61 No. 1 の J-STAGE3 公開化作業および投稿料等(カラーページ等の追加料金)の見直しを行った。
- 3) 国際部会:5回の部会を開催し,主に2013年国際シンポジウムの企画・運営実施方法などについて検討した。
- 4) 事業部会:SAYER会,砂防水理模型実験講習会,現地検討会,砂防学会誌講習会,平成24年度奥飛騨砂防・土木技術者研修会,砂防関係就職説明会の開催,砂防技術総覧の追加募集,平成24年度研究発表会概要集のPDF掲載,学会支部会設立に向けた勉強会等を実施した。
併せて「砂防」復刻版の作成準備を行った。
- 5) 経理部会:財務改善及び会員拡大について,部会を開催した。また,砂防会館において経理書類整理,文科省実地検査事前準備,文科省実地検査を行った。
- 6) 総務部会:会費自動引き落としの作業,各種委員会開催準備等を行った。

平成 24 年度貸借対照表総括表
平成 25 年 3 月 31 日現在（決算）

（単位：円）

科 目	一般事業	受託事業	内部取引消去	合 計
I 資産の部				
流動資産				
現金預金	13,542,595	16,403,896	0	29,946,491
未収金	12,567,881	88,936	11,573,183	1,083,634
未収収益		37,968,000		37,968,000
前払金	167,360			167,360
流動資産合計	26,277,836	54,460,832	0	69,165,485
固定資産				
基本財産				
定期預金	30,000,000			30,000,000
基本財産合計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	6,189,548			6,189,548
減価償却引当資産	698,620			698,620
学術国際協力事業積立資産	4,400,000			4,400,000
特定資産合計	11,288,168	0	0	11,288,168
その他固定資産				
什器備品	4			4
敷金	1,280,400			1,280,400
その他固定資産合計	1,280,404	0	0	1,280,404
固定資産合計	42,568,572	0	0	42,568,572
資産合計	68,846,408	54,460,832	11,573,183	111,734,057
II 負債の部				
流動負債				
未払金	3,033,092	26,802,006	11,573,183	18,261,915
前受金	3,029,000			3,029,000
預り金	176,544	106,587		283,131
未払法人税等		1,087,500		1,087,500
未払消費税等	920,300			920,300
流動負債合計	7,158,936	27,996,093	11,573,183	23,581,846
固定負債				
退職給付引当金	6,189,548			6,189,548
固定負債合計	6,189,548	0	0	6,189,548
負債合計	13,348,484	27,996,093	11,573,183	29,771,394
III 正味財産の部				
一般正味財産	55,497,924	26,464,739	0	81,962,663
（うち基本財産への充当額）	30,000,000			30,000,000
（うち特定資産への充当額）	11,288,168			11,288,168
正味財産合計	55,497,924	26,464,739	0	81,962,663
負債及び正味財産合計	68,846,408	54,460,832	11,573,183	111,734,057

平成 24 年度正味財産増減計算書総括表
平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日（決算）まで

(単位：円)

科 目	一般事業	受託事業	合 計
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
基本財産運用益	9,024	0	9,024
基本財産受取利息	9,024		9,024
受取会費	19,212,000	0	19,212,000
正会員受取会費	13,465,000		13,465,000
学生会員受取会費	157,000		157,000
賛助会員受取会費	5,590,000		5,590,000
事業収益	24,395,248	48,918,450	73,313,698
出版事業収益	6,152,878		6,152,878
研究発表会開催収益	16,911,370		16,911,370
シンポジウム開催収益	1,211,000		1,211,000
講習会等開催収益	120,000		120,000
受託事業収益		48,918,450	48,918,450
受取補助金等	1,600,000	0	1,600,000
受取民間助成金	1,600,000		1,600,000
雑収益	2,167	0	2,167
受取利息	2,167		2,167
經常収益計	45,218,439	48,918,450	94,136,889
經常費用			
事業費	38,272,758	33,181,471	71,454,229
給料手当		1,188,900	1,188,900
旅費交通費		4,696,624	4,696,624
通信運搬費		10,300	10,300
支払手数料		51,388	51,388
消耗品費		2,107,495	2,107,495
会議費		431,996	431,996
印刷製本費		354,963	354,963
保険料		12,870	
諸謝金		2,840,000	2,840,000
租税公課		20,200	20,200
委託費		21,466,735	21,466,735
研究開発部	704,223		704,223
編集部	760,992		760,992
国際部	519,720		519,720
事業部	491,180		491,180
出版事業費	12,536,398		12,536,398
図書館運営費	1,100,000		1,100,000
研究発表会等開催費	17,833,383		17,833,383
研究費	3,811,917		3,811,917
表彰制度運営費	514,945		514,945
管理費	7,221,384	12,556,768	19,778,152
給料手当	2,462,747	4,748,808	7,211,555
退職給付費用	1,019,961		1,019,961
福利厚生費	253,146	488,128	741,274
会議費	107,370	207,035	314,405

旅費交通費	518,712	1,000,208	1,518,920
通信運搬費	272,140	524,755	796,895
減価償却費	10		10
支払手数料	780,277	1,504,573	2,284,850
消耗品費	16,897	36,436	53,333
印刷製本費	71,715	138,285	210,000
光熱水料費	17,558	33,856	51,414
賃借料	841,426	1,622,484	2,463,910
租税公課	525,900	2,252,200	2,778,100
支払負担金	299,400		299,400
雑費	34,125		
経常費用計	45,494,142	45,738,239	91,232,381
当期経常増減額	△275,703	3,180,211	2,904,508
経常外増減の部			
経常外収益			
経常外収益計	0	0	
経常外費用			
経常外費用計	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△275,703	3,180,211	2,904,508
一般正味財産期首残高	55,773,627	23,284,528	79,058,155
一般正味財産期末残高	55,497,924	26,464,739	81,962,663
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	55,497,924	26,464,739	81,962,663

財 産 目 録

平成 25 年 3 月 31 日決算

法人名：公益社団法人砂防学会

事業名：事業全体

科 目		金	額
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現 金 預 金	現金手元有高	264,682	
郵 便 振 替	ゆうちょ銀行都道府県会館内郵便局	5,758,300	
郵 便 貯 金	ゆうちょ銀行都道府県会館内郵便局	479,162	
普 通 預 金	みずほ銀行 麴町支店	1,762,433	
	三菱東京UFJ銀行 麴町支店	16,681,914	
定 期 預 金	三菱東京UFJ銀行 麴町支店	5,000,000	
未 収 金	共通管理費負担金等 (内部振替)	11,573,183	
	砂防学会誌 広告料	613,200	
	砂防学会誌 別刷 刊行物代金	451,000	
	その他	19,434	
未 収 収 益	国土技術政策総合研究所	30,093,000	
	(一財)砂防・地すべり技術センター	7,875,000	
	平成25年度研究発表会等開催費	167,360	
前 払 金			80,738,668
流 動 資 産 合 計			
固 定 資 産			
基 本 財 産			
定 期 預 金	三菱東京UFJ銀行 麴町支店	30,000,000	
基 本 財 産 合 計		30,000,000	
特 定 資 産			
退 職 給 付 引 当 資 産	三菱東京UFJ銀行 麴町支店	6,189,548	
減 価 償 却 引 当 資 産	三菱東京UFJ銀行 麴町支店	698,620	
学 術 国 際 協 力 事 業 積 立 資 産	三菱東京UFJ銀行 麴町支店	4,400,000	
特 定 資 産 合 計		11,288,168	
そ の 他 固 定 資 産			
什 器 備 品	事務局パソコン等	4	
敷 金	(一社)全国治水砂防協会	1,280,400	
そ の 他 固 定 資 産 合 計		1,280,404	
固 定 資 産 合 計			42,568,572
資 産 合 計			123,307,240
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
未 払 金	受託事業研究調査費	15,299,663	
	共通管理費負担金等 (内部振替)	11,573,183	
	出版事業費	2,055,568	
	その他管理費	825,480	
	その他事業費	81,204	
前 受 金	平成25年度分会費収入	3,029,000	
預 り 金	源泉所得税等	283,131	
未 払 法 人 税 等	法人税等24年度確定税額	1,087,500	
未 払 消 費 税 等	消費税等24年度確定税額	920,300	
流 動 負 債 合 計			35,155,029
固 定 負 債			
退 職 給 付 引 当 金	24年度期末要支給額	6,189,548	
固 定 負 債 合 計			6,189,548
負 債 合 計			41,344,577
正 味 財 産			81,962,663

財務諸表に対する注記

法人名：公益社団法人砂防学会
事業名：一般事業

1. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成16年10月14日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ）を採用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当なし

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当なし

(4) 固定資産の減価償却の方法
有形固定資産 定額法によっている。

(5) 引当金の計上基準
退職給付引当金
職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務の見込額に基づいて計上している。

(6) リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(7) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

該当なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産		0	0	
定期預金	30,000,000	0	0	30,000,000
小 計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産		0		
退職給付引当資産	5,169,587	1,019,961	0	6,189,548
減価償却引当資産	698,610	10	0	698,620
学術国際協力事業積立資産	2,400,000	2,000,000	0	4,400,000
小 計	8,268,197	3,019,971	0	11,288,168
合 計	38,268,197	3,019,971	0	41,288,168

財務諸表に対する注記

法人名：公益社団法人砂防学会
事業名：一般事業

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	30,000,000	(0)	(30,000,000)	(0)
小 計	30,000,000	(0)	(30,000,000)	(0)
特定資産				
退職給付引当資産	6,189,548	(0)	(6,189,548)	(6,189,548)
減価償却引当資産	698,620	(0)	(698,620)	(0)
学術国際協力事業積立資産	4,400,000	(0)	(4,400,000)	(0)
小 計	11,288,168	(0)	(11,288,168)	(6,189,548)
合 計	41,288,168	(0)	(41,288,168)	(6,189,548)

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	698,624	698,620	4
合 計	698,624	698,620	4

7. 保証債務等の偶発債務

該当なし

8. 重要な後発事象

該当なし

9. その他

該当なし

財務諸表に対する注記

法人名：公益社団法人砂防学会
事業名：受託事業

1. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成16年10月14日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ）を採用している。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当なし

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当なし

(4) 固定資産の減価償却の方法
該当なし

(5) 引当金の計上基準
該当なし

(6) リース取引の処理方法
該当なし

(7) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

該当なし

3. 担保に供している資産

該当なし

4. 保証債務等の偶発債務

該当なし

5. 重要な後発事象

該当なし

6. その他

該当なし

平成 25 年度 事業計画

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

基本方針

砂防学の進歩，砂防事業の発展，並びに砂防技術者の資質の向上を図り，もって国土の保全，国民生活の安全，学術文化の進展と社会の発展等に寄与することを目的とする。

平成 25 年度においては，以下の事業を推進する。

- (1) 砂防に関する研究及び調査並びにその奨励と普及
- (2) 砂防に関する研究及び調査の助成
- (3) 砂防に関する研究発表会，講演会，講習会等の開催及び見学視察等の実施
- (4) 砂防に関する建議並びに諮問に対する答申
- (5) 会誌及び砂防に関する図書，報論文，資料等の刊行
- (6) 砂防関係図書及び資料の収集・保管・公開
- (7) 砂防の発展に資する学術国際活動
- (8) 砂防技術者の育成
- (9) その他この目的を達成するために必要な事業

事業計画

1. 砂防に関する調査・研究ならびに奨励と普及

(1) 調査・研究

- 1) 受託研究の実施。
- 2) 災害調査の実施。

(2) 表彰

- 1) 平成 25 年度砂防学会賞（「論文賞」，「論文奨励賞」，「砂防技術賞」）受賞者の表彰。
- 2) 平成 26 年度砂防学会賞（「論文賞」，「論文奨励賞」，「技術賞」）受賞者の決定。

(3) 広報活動

- 1) 広報委員会活動として，会員増に向けての対応，学会活動の充実，学会ホームページ，メーリングリストなどインターネットを通じた情報交換の促進に取り組む。

(4) 地方活動活性化の推進

「地方活動活性化検討委員会」において地方支部活動の試行を行う。

2. 調査・研究に対する助成

- (1) 「若手研究助成」による研究技術開発とワークショップ活動の助成
- (2) 「公募研究会」による研究会活動の助成

3. 研究発表会，講演会，講習会の開催

- (1) 研究発表会

- | | | |
|-------|-----------|---------|
| 研究発表会 | 5月29, 30日 | 静岡県静岡市 |
| 現地研修会 | 5月31日 | 富士山周辺など |
- (2) シンポジウム
- | | | |
|--------------------|-----------|---------|
| 国際シンポジウム | 9月26日～27日 | 京都府宇治市 |
| 第45回(公社)砂防学会シンポジウム | 10月8日～10日 | 和歌山県田辺市 |
- (3) 砂防水理模型実験講習会を開催する。
(4) 講習会を開催する。
(5) 現地検討会を開催する。

4. 砂防に関する建議並びに諮問に対する答申
調査・研究結果に基づき砂防に関する提言を行う。

5. 会誌等刊行

(1) 出版

- 1) 砂防学会誌第66巻第1号～第6号までの6冊(第6号は「地質条件と斜面崩壊—予測と対策—」の特集号)と英文誌Vol.6(No.1, No.2), 災害調査特集等(全て電子体)を刊行する。また, 砂防学会誌および英文誌をJ-Stage3に掲載する。
- 2) 平成25年度砂防学会研究発表会概要集をPDF化し, HPに掲載する。
- 3) 第45回(社)砂防学会シンポジウム講演集を刊行する。
- 4) 砂防技術総覧の原稿を追加募集する(随時継続募集)。
- 5) 調査・研究等の成果報告書を刊行する。
- 6) 「砂防」復刻版を作成・頒布する。
- 7) 砂防水理模型実験動画集の作成を行う。

6. 砂防関係図書および資料の収集・保管・公開
砂防図書・資料の保管整備, 砂防図書館の充実

7. 学術国際活動

- (1) 各種国際会議等の最新情報を砂防学会誌に掲載
- (2) 海外学術調査
- (3) 留学生名簿の作成

8. 砂防技術者の育成

- 1) SAYER会を開催する。
- 2) 技術士継続教育(CPD)への支援を行う。
- 3) 「奥飛騨土木・砂防技術者研究会」を共催する。
- 4) 「若手人材育成推進委員会」による就職説明会等を開催する。

9. その他

平成25年度定時総会を5月29日に静岡県静岡市で開催する。

平成25年度 収 支 予 算 書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

科目	公益目的事業			法人会計	合計
	調査研究事業	共通	計		
1. 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常利益					
基本財産受取利息	9,000		9,000		9,000
受取会費	12,607,000		12,607,000	6,857,000	19,464,000
正会員受取会費	6,118,000		6,118,000	6,118,000	12,236,000
購読会員受取会費	651,000		651,000	651,000	1,302,000
学生会員受取会費	88,000		88,000	88,000	176,000
賛助会員受取会費	5,750,000		5,750,000		5,750,000
事業収益	54,520,000		54,520,000		54,520,000
出版事業収益	8,000,000		8,000,000		8,000,000
研究発表会開催収入	14,000,000		14,000,000		14,000,000
シンポジウム開催収入	3,590,000		3,590,000		3,590,000
講習会等開催収入	150,000		150,000		150,000
受託事業収入	28,780,000		28,780,000		28,780,000
雑収益	1,000,000		1,000,000	2,000	1,002,000
受取利息				2,000	2,000
受取寄附金	1,000,000		1,000,000		1,000,000
経常収益計	68,136,000		68,136,000	6,859,000	74,995,000
(2) 経常費用					
① 事業費(直接費)	68,895,000		68,895,000		68,895,000
出版事業費	16,140,000		16,140,000		16,140,000
受託事業費(研究調査費)	17,100,000		17,100,000		17,100,000
事業費	7,815,000		7,815,000		7,815,000
給料手当	3,710,000		3,710,000		3,710,000
福利厚生費	380,000		380,000		380,000
会議費	150,000		150,000		150,000
旅費交通費	670,000		670,000		670,000
通信運搬費	360,000		360,000		360,000
支払手数料	950,000		950,000		950,000
消耗品費	240,000		240,000		240,000
印刷製本費	110,000		110,000		110,000
光熱水料費	20,000		20,000		20,000
賃借料	1,190,000		1,190,000		1,190,000
租税公課	20,000		20,000		20,000
雑費	15,000		15,000		15,000
研究開発部	700,000		700,000		700,000
編集部	1,220,000		1,220,000		1,220,000
国際部	750,000		750,000		750,000
事業部	760,000		760,000		760,000
研究発表会等開催費	19,540,000		19,540,000		19,540,000
研究費	3,200,000		3,200,000		3,200,000
図書館運営費	1,100,000		1,100,000		1,100,000
表彰制度運営費	570,000		570,000		570,000
② 事業費(間接費)・管理費		7,973,081	7,973,081	2,101,779	10,074,860
給料手当		3,026,000	3,026,000	534,000	3,560,000
退職給付費用		662,881	662,881	116,979	779,860

平成25年度 収 支 予 算 書

平成25年4月1日から平成25年3月31日まで

科目	公益目的事業			法人会計	合計
	調査研究事業	共通	計		
福利厚生費		314,500	314,500	55,500	370,000
会議費		127,500	127,500	22,500	150,000
旅費交通費		544,000	544,000	96,000	640,000
通信運搬費		297,500	297,500	52,500	350,000
支払手数料			0	910,000	910,000
消耗品費		195,500	195,500	34,500	230,000
印刷製本費		85,000	85,000	15,000	100,000
光熱水料費		17,000	17,000	3,000	20,000
賃借料		960,500	960,500	169,500	1,130,000
租税公課		1,220,000	1,220,000		1,220,000
役員改選費		255,000	255,000	45,000	300,000
支払負担金		255,000	255,000	45,000	300,000
雑費		12,700	12,700	2,300	15,000
経常費用計	68,895,000	7,973,081	76,868,081	2,101,779	78,969,860
当期経常増減額	-759,000	-7,973,081	-8,732,081	4,757,221	-3,974,860
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計					
(2) 経常外費用					
経常外費用計					
当期経常外増減額					
他会計振替額					
当期一般正味財産増減額	-759,000	-7,973,081	-8,732,081	4,757,221	-3,974,860
一般正味財産期首残高					81,962,663
一般正味財産期末残高					77,987,803

収支予算書外の投資活動収支	学術国際交流事業積立資産取崩収入	1,800,000
	学術国際交流事業積立資産取得支出	2,000,000
	退職給付引当資産取得支出	779,860
	投資活動収支差額	-979,860

定款の変更について

平成24年度の総会決議の定款案(2012. 05. 23)	平成25年度総会で決議した定款変更
<p>第12章 補則</p> <p>(事務局員及び職員)</p> <p>第45条 この法人の事務を処理するため事務局を設け、有給の職員を置くことができる。</p> <p>2 職員のうち事務局長は、理事会の議決を要する。</p> <p>3 職員は、会長が任免する。</p>	<p>第12章 補則</p> <p>(事務局員及び職員)</p> <p>第45条 この法人の事務を処理するため事務局を設け、有給の職員を置くことができる。</p> <p>2 職員のうち事務局長の選任及び解任は、理事会の議決を要する。</p> <p>3 職員は、会長が任免する。</p>